

地域自治センターだより

[編集] 上田市真田地域自治センター 地域振興課 〒386-2292 上田市真田町長7178-1

有線2015 TEL0268-72-2200(代表) FAX0268-72-4140

平成25年/2013 3.15 No.31

さなだ

S A N A D A

真田氏を活かしたまちづくり

常田軍三氏、山田順子氏、高橋自治センター長 三者対談



高橋自治センター長

山田順子氏

常田軍三氏

上田市は、地域経済の活性化につながる観光産業をリーディング産業として、様々な取り組みを行っています。真田氏ゆかりの史跡や上田城などで「真田氏を活かしたまちづくり」を推進するなか、真田地域は、真田氏発祥の郷としての歴史・観光資源を活かしたまちづくり、観光と農業を活かした地域づくりを目標としています。

今回は、地域で自主的にまちづくりの取り組みをされている真田氏研究家 常田軍三氏と時代考証家 山田順子氏をお迎えし、真田地域自治センターの高橋センター長と鼎談をしていただきました。お二人のこれまでの取り組みを振り返るとともに、これからの真田氏を活かした観光振興や地域おこしについてお聞きしました。(対談内容は2ページからをご覧ください)

真田地域のイベント&スポーツ大会等

平成25年度 真田有線放送モニター募集

真田有線放送は、放送内容の向上に役立てるため、番組やお知らせに関する感想や意見、身近にある話題などの情報を寄せていただくモニターを募集します。

応募条件▶ 真田有線放送加入者で有線放送係が指定した番組を聴くことができる方。

モニター期間▶ 平成25年6月1日から平成26年3月31日まで

モニター内容▶ 有線放送係の指定する番組を2か月に1回モニターし、番組の感想などを所定の用紙に書いて郵送で提出していただきます。

応募方法▶ 直接、有線放送係まで御連絡ください。

応募締切▶ 3月29日(金)

○採用の方には、有線放送係から御連絡します。

○モニターとして活動していただいた方には謝礼を差し上げます。

☎ 地域振興課 有線2121 TEL72-2258

- 4月6日 少年スポーツ教室開講式
- 10日・17日 さなだスポーツクラブ杯ソフトバレー大会(★)
- 20日・21日 YONEXさなだスポーツクラブ杯ソフトテニス大会(★)
- 5月19日 真田地域体育祭
- 19日 御屋敷つつじ祭り (★印さなだスポーツクラブ主催)

【ふれあいさなだ館20周年記念イベント情報】

●期間 4月12日(金)～14日(日)

〈内容〉

- 12日(金) ・先着300名様に記念タオル進呈
屋12時30分～・キングレコード 土屋千明 20周年記念歌謡ショー
- 13日(土)・14日(日)両日は午前5時より朝風呂を営業します。
期間中は、食堂の「かけうどん」「ざるそば」「ラーメン」を各200円で御提供するほか、リンゴ風呂のサービスや売店商品を特別記念価格にて販売いたします。
- 17日(水) ・20周年記念ショー第2弾 三味線と踊りの集い
ふじもとたきじかい 三味線/藤本頼貴次会 たけちとまいづるかい 踊り/竹本舞鶴会

☎ 真田温泉ふれあいさなだ館 有線2230 TEL72-2500

真田氏を活かしたまちづくり

高橋センター長 以下 高橋 日ごろから真田地域の活性化に御尽力いただきありがとうございます。本日は、お二人がどのような思い



常田軍三氏
真田氏研究家

長年の研究を基に真田氏随想録を著す。平成23年には真田氏関連などの貴重な蔵書630冊を真田図書館に寄贈



山田順子氏
時代考証家

連続ドラマ『JIN-仁-』の時代考証を担当。テレビでの歴史解説をはじめ、江戸時代を中心とした著書多数

てしまう。滞在時間を増やすため、訪れた人が腰を下ろしゆっくり休めて、真田グッズも買える楽しい施設に真田庵を変えてはどうかと思っています。

山田氏 今の真田地域には訪れるお客様へのおもてなしが、少し足りないところがあるかなという気がします。施設の開館時間は季節を考慮したり、寒い時期には温かいお茶を差し上げたり、歴史ガイドとして語り部をPRしたりと、訪れる皆さんの立場でサービスを提供する必要があると思います。

常田氏 市内の宿に、真田庵の語り部について宣伝することも重要かと思っています。真田庵へ行けば真田三代の話も30分でも1時間でも無料で聞けると広まれば、温泉の宿泊客が訪れることも考えられます。一昨年には、大手旅行会社のバスツアーが年間50台、約2、000人が真田庵を訪れましたが、真田氏歴史館での滞在時間は無く、おほぎを食っただけで次の目的地へ移動してしまいました。また、全国ブランドの観光PRを進めるうえで、例えば菅平のスポーツ合宿の賑わいを活かすなど地元住民を巻き込んだ組織ですることが大事ではないでしょうか。

山田氏 土日であれば真田庵で常田先生が語り部をされているので、旅行会社などには通過地点ではなく30分から40分の滞在場所なのだという認識で旅行日程を企画

で取り組まれてきたのか、またこれからの真田地域のまちづくりをどう考えるかお伺いしたいと思います。常田先生は4年も前から週末に真田氏歴史館に隣接する真田庵で「語り部」として歴史ガイドをボランティアで行われました。平成23年には「語り部養成講座」の講師を務められ、昨年はその語り部の皆さんと語りにあわせた紙芝居を作成されています。

常田氏 語り部を始めたのは、真田氏という全国ブランドの一族についてもっと地元の人に知って欲しい、真田氏を検証してどんな一族であったのかをもっと身近に感じてもらうことが目的でした。全国の人に真田氏を知ってもらうには、まず地域の皆さんに真田魂、真田心を知っていただくことが一番大事だと考えました。そのため「語り部養成講座」には時代考証家の目で真田をどのように見ているかをお聞きするため山田先生にも講師をお願いしました。

高橋 山田先生は平成23年7月から真田地域にも住まれ、東京と行き来しながら真田地域と関わり「真田戦国ロマンそばプロジェクト」や講演など様々な活動をされています。地域の皆さんとともに

取り組まれたことについてお聞かせください。

山田氏 真田氏発祥の地であることと気候風土の良さに引かれて訪れ散策するうちに、歴史好きのみならず一般の観光客にとつても面白いものを沢山見つけました。冬に常田先生の語り部養成講座に参加し熱心な受講者から真田氏への愛情を感じ、地域を知ることのできるをさらに大切にすることにつながればと、「真田戦国ロマンそばプロジェクト」に取り組まれました。これは、観光地の風景として本城、天白城、砥石城が見える最高の場所が荒れていては惜しい、真田氏の家来が命を掛けたであろう土地をよみがえらせたいと思い、地元「原の郷そば活性化組合」の皆さんと約3、000坪にそばの花を咲かせました。

また、この取り組みを広く知っていたために大判「すごろく」をつくり上田市内の全小中学校の児童生徒に贈りました。さらに、真田地域をはじめ全国の皆さんに、この地をもっと知って欲しいと考え、私が見聞きし調べた事柄を記録として残すために「新説 真田三代ミステリー」を著しました。

高橋 すごろくは25、000枚も自費で印刷していただき、ありがとうございます。

次に、これからの真田地域の振興策について、お考えをお聞かせ

ください。

常田氏 平成10年の第1回真田サミットの総合同会を務めた際、まとめで「真田氏ゆかりの地域の信頼関係を築き相互理解のもとに人的物的交流の促進を図り、真田を世の中にもっと広く知ってもらいたい」としましたので、今後更にその交流が促進されればと思います。

高橋 平成22年には、上田から沼田まで真田氏が統治した市町村で真田氏を盛り上げていこうと「真田街道推進機構」ができました。昨年、長野市が加わり松代までの連携ができています。

山田氏 地域での滞在時間を多くしてもらうことが必要だと思えます。冬でも真田氏歴史館を訪れる人たちがいることを見ても、この地域での滞在時間を多くすることができれば宿泊は上田市内という選択になるのではないのでしょうか。観光客は滞在することで購買意欲が湧いてきます。また、上田市は冬の積雪が少なく長靴程度で本城などへ登ることができるので「冬こそ山城」をPRしたらどうでしょう。冬は山の稜線や地形が良く見えるので、その景色を楽しめ冬の観光地にもなりえると思えます。

常田氏 真田氏歴史館は年間3万人もの入館者数があります。しかし訪れる人は歴史館を見たあと真田本城や長谷寺へ行き、すぐ帰っ

ばまつり」で、それぞれの活性化組合が初めて一堂に会してそばまつりができました。また、大日向自治会にある古い水車を復元しようという動きもあります。真田で取れたそばを真田の水車でひいて、「真田戦国そば」として出せるかなと期待しています。

山田氏 子どもたちや、菅平に来た学生さんが自分で刈ったそばを水車小屋に持ち込んで、自分たちの手で粉をひき、そばを打つ体験が良い学習になると思います。農産物の加工施設として使うだけでは良くないではないでしょうか。

常田氏 山田先生の作られたすごろくを用いて、5月の連休や8月の真田まつりの時に真田庵ですごろく大会をしたら面白いと思います。また、幸隆公を題材としたものを今年の4月末までには作成し、3部作が出来上がる予定です。

山田氏 大人は共感できる常田先生の良いお話も、子どもたちには伝わりづらいのではないかと感じ、紙芝居の作成を提案しました。常田先生に紙芝居用の新作を書き下ろしていただき、絵は以前から十勇士のイラストなど多方面で活躍されている柳沢雄二さんに書き下ろしていただきました。柳

沢さんには昨年から取り組んでいる真田地域の観光マップの絵も担当していただき地元の人ならではの、心のある絵で楽しい地図ができる予定です。

高橋 山田先生は市長を訪問された際に、色々な意見を出し合い議論する場づくりとして「真田学会」を提唱されましたが、この学会創設に向けたお考えをお聞かせください。

山田氏 大局観で真田氏を捉えることが必要だと思います。今まで地元で研究されてきた方々はもちろん、外からの研究者を交えて議論をする場、若手や意欲のある研究者を応援し、発表する場として「真田学会」の立ち上げをお手伝いしたいと思っています。また、常田先生のような語り部となるように子どもたちを養成しなければならぬと思います。

高橋 真田に興味を持つ皆さんは全国にいます。地域の史跡については地元の方々でも知らない部分があると思います。より深い研究につながりますように地元の研究者としてお二人にご協力いただき研究組織が立ち上げられれば良いと思います。今後も引き続き良きアドバイスをよろしくお願いします。それぞれの御立場でこれまでも大変御活躍されておりますが、今後地域のためお力添えをお願いいたします。本日はありがとうございます。



試行錯誤の末、完成した紙芝居の第1作



「新説 真田三代ミステリー」出版にあたり、母袋市長を訪問。著書を贈呈、真田氏を活かした地域振興策を提言



作成したすごろく、真田図書館で原画展も開かれた



山田氏が語り部養成講座修了者を案内して地域の観光資源を巡る



語り部養成講座では真田魂についても講義



真田庵で行われる語り部に多くの歴史愛好家が訪れる

📷 年間の活動内容を発表

真田地域の消費生活展「第29回さなだみんなの生活展」が1月26日に真田中央公民館で行われました。

ステージでは小学生の元気いっぱいのダンスや小学校の先生方によるバンド演奏も行われ会場を盛り上げたほか、真田中学校の生徒により「食をとおして伝える心、深まる絆」として食育について取り組んだ内容の発表が行われ訪れた皆さんが熱心に聞いていました。

また、会場いっぱいに表示された地域内の各団体や小・中学校など36団体による活動内容の発表に多くの皆さんが足を止めていました。



📷 園児たちが悪い鬼を追い払う

2月1日、さなだ保育園で節分の豆まきが行われました。

ホールに集まった園児たちは、まず、邪気除けに用いられるヒイラギの枝やイワシを見ながら節分の行事について説明を聞きました。

その後、「いじわるの鬼」「片付けしない鬼」「食べ物を好き嫌いをする鬼」がホールに現れると園児たちは少し怯えた様子でしたが、3体の鬼を追い払うために大きな声で「鬼は外」と豆をぶつけました。

無事に鬼を追い払ったあとは皆で外に出て風邪や寒さを吹き飛ばすように園庭に豆まきをしました。



📷 無病息災を願い道祖神へお参り

そえひ保育園で「わら馬」を引き道祖神にお参りしてお供えする「きびもち」づくりが2月7日に行われました。

「きびもち」に入れたキビの実は、園の農作業に協力する地域のおじいちゃん、おばあちゃんで作る「そえひみどり隊」と園児たちが保育園の畑で育てたものです。

園児たちは「そえひみどり隊」のおばあちゃんに教えてもらいながら自分で収穫したキビの実がたっぷり入った「きびもち」をつくり、お供え用のだんごをつくった残りはみんなで味わいました。

翌8日は、「きびもち」を背負った「わら馬」を引き、地域の道祖神をお参りして無病息災を祈りました。



真田地域協議会だより

平成24年度第10回協議会から

2月20日に第10回の真田地域協議会を開催しました。全体会では長野県による都市計画区域マスタープランの見直しについて都市計画課長から説明を受け意見交換しました。また、各分科会長から分科会での協議内容の報告がありました。さらに平成25年度から制度が拡充された「わがまち魅力アップ応援事業」の概要説明と、3月

の協議会で行う審査・選考の内容について説明がありました。

■平成25年度真田地域の地域振興事業基金活用事業について

12月の協議会では、真田地域の地域振興事業基金活用事業について24年度の実績見込みと25年度の活用計画について各課長から説明があり承認しました。

■平成25年度真田地域事業基金活用計画

- ・真田氏発祥の郷誘客事業
- ・真田氏歴史館企画展開催、観光案内板整備など
- 事業費 7,612千円
- 基金充当額 7,612千円
- ・大日向地すべり対策事業に伴う石碑設置事業
- （横尾自治会内に設置）
- 事業費 420千円
- 基金充当額 420千円
- ・真田中央公民館施設整備事業
- （中央公民館大ホール床張替え）
- 事業費 4,000千円
- 基金充当額 2,000千円



上田市わがまち魅力アップ応援事業

一面の白銀の世界を楽しむ

雄大な冬の菅平をスノーシューで楽しむイベント「スノーシューレース&雪上ハイク」が1月26日、27日に菅平牧場と奥ダボススノーパークを会場に行われました。

26日には降りしきる雪のなかでスノーシューレースが行われ、市内外から集まった参加者は、厚く積もった雪の感触と一面の雪景色を楽しみながら最長10kmのコースに挑みました。



そば打ちのコツを学ぶ



地域の優れた伝承技術を後世につないでいこうと、2月16日、23日、3月2日に夢工房でそば打ち教室が開催されました。「自分の打ちたいそばをイメージし、そばと対話しながら作業することが大切」と話す橋場秀俊さん(ふれあいさなだ館 支配人)による全3回の教室で、そば打ちの基本を身につけることを目標に参加した計31人の皆さんは、講義では時折メモを取りながら熱心に耳を傾け、実技に真剣に取り組んでいました。





実行委員の皆さん

ふるさと真田に生まれ

平成25年上田市成人式が1月13日に行われ、真田地域会場の真田中央公民館は、友や恩師との久し振りの再会に笑顔が広がりました。真田地域では131人が成人を迎え123人が参加した式典では、同じく成人を迎えたエレクトーン奏者、保科すみれさんによるBGMで思い出の写真のスライドショーが上映され、あどけない日々をよみがえらせていました。成人式終了後は、実行委員会の主催による立食パーティーに恩師も参加して懐かしい思い出話を楽しみました。



誓いのことばから

成人者代表 樋沢友洋さん(町原)

私たち世代の自立した考えや行動から日本の未来に明るい光を届けていきたい。ふるさと真田がより一層希望の持てる住みよい地域になることを願い、社会を担う一員として自分の目指す道を歩んでいきます。



地酒文化の魅力を再発見

きき酒師の宮島国彦氏を講師に迎え、信州の日本酒と文化について学ぶ「絶対たのしい！地酒教室」が2月16日に行われました。市内各地から集まった皆さんは、酒造りや日本酒の歴史、ラベル表示の見方などを、講義と試飲を通して学びました。



真田中央公民館 大ホール照明改修工事が完了

真田中央公民館大ホール照明改修工事中は、御不便、御迷惑をお掛けいたしました。この度、工事が完了し明るいホールに生まれ変わりました。会議や行事に皆様の御利用をお待ちしております。



☎ 真田地域教育事務所 有線2097 Tel.72-2655